

長い間の「後遺症」

災害の本当の恐怖は、その「後遺症」にあります。少し難しいけど、想像してみよう。

- 「新幹線」等が長い間使えず、色んなビジネスが滞り…
- 「高速道路」等が長い間使えず、物流が滞り…
- 「港」が長い間使えず、貿易が滞り…
- 「電気・ガス」が不十分になり、工場生産が滞り…

その結果

日本全体が、災害で「不況」になる。

ビジネス、物流、貿易、工場生産、等が滞る事で…

いろんな会社の儲けが減り、
みんなの給料が減り、
倒産する会社や失業する人が増える…

このような状況を
不況という。

「被災地」の不況はさらに深刻なものに！

それが
長引けば

- 被災した地域が消滅の危機に。
- 日本全体も、復興もできず、凋落※の一途に…

今では想像出来ないほどの「貧しい国」に。
(みんなの給料も安くなり、安定した仕事につけない人が増える…)
国際的な地位も凋落し、外交も低迷。
(外国との交渉で不利になって損をすることが増える…)

「税金」も大きく減って、防災、教育、福祉、国防…等ができない国に。

※凋落：衰えること、落ちぶれること

こんな最悪な未来を避けるために、今の私たちに何ができるのか考えてみましょう。



ヒント

災害対策は、次の3つに分類されることがあります。それぞれどんなものがあるか、次のページ以降を参考に考えて、記入してみてください。

自助

自分で自分を
守ります。

共助

地域などで、
助け合います。

公助

政府や行政が、
助けます。

.....

.....

.....